



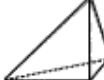
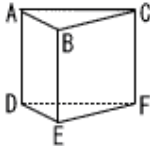
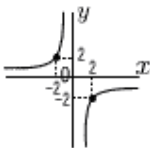






印刷して、紙の上でやってネ!

前		期																	
1	(1) 😊 $-3+(-2)$	5	<p>yがxの1次関数であり、そのグラフの傾きが2で、点$(-3, -1)$を通るとき、この1次関数の式を求めなさい。</p>																
	(2) 😊 $8-4\div(-2)^2$																		
	(3) 😊 $5\times(-5a)$																		
	(4) $\frac{1}{2}x^2y\div\frac{1}{2}xy$	6	<p>😊 次のア～オの図形のうち、角すいをすべて選び、記号で答えなさい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">ア </div> <div style="text-align: center;">イ </div> <div style="text-align: center;">ウ </div> <div style="text-align: center;">エ </div> <div style="text-align: center;">オ </div> </div>																
	(5) 😊 $2(a+b)-3(a-b)$																		
	(6) 😊 $\sqrt{48}-\sqrt{3}$																		
2	😊 $(2a-b)^2$	7	<p>右の表は、あるクラスの生徒38人の、1日あたりの学習時間を度数分布表にまとめたものである。30分以上60分未満の階級の相対度数を求めなさい。</p> <p>ただし、小数第3位を四捨五入して、小数第2位まで求めること。</p> <table border="1" style="float: right;"> <thead> <tr> <th>階級(分)</th> <th>度数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以上 未満 0~30</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>30~60</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>60~90</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>90~120</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>120~150</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>150~180</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table>	階級(分)	度数(人)	以上 未満 0~30	3	30~60	6	60~90	8	90~120	11	120~150	6	150~180	4	合計	38
	階級(分)			度数(人)															
	以上 未満 0~30			3															
30~60	6																		
60~90	8																		
90~120	11																		
120~150	6																		
150~180	4																		
合計	38																		
😊 x^2-x-42 を因数分解しなさい。																			
半径が6cmで中心角が 45° のおうぎ形の面積を求めなさい。 ただし、円周率は π とする。																			

後		期
1	(1) 😊 $2 - (-5)$	7
	(2) 😊 $4x - 2x \times \frac{1}{2}$	
	(3) 😊 $-6a^3b^2 \div (-4ab)$	
2	$x = -2, y = 3$ のとき, $(2x - y - 6) + 3(x + y + 2)$ の値を求めなさい。	8
3	右の図の三角柱ABC-DEFにおいて、辺ABとねじれの位置にある辺を、すべて答えなさい。 	
4	n を自然数とする。 $\sqrt{24n}$ が自然数となるような n のうち、最も小さい数を求めなさい。	
5	右の図の双曲線は、ある反比例のグラフである。この反比例について、 y を x の式で表しなさい。 	9
6	右の図のような $\angle A = 90^\circ$ の直角三角形ABCにおいて、 $AB = 2\text{cm}$, $CA = 3\text{cm}$ である。辺BCの長さを求めなさい。 	
	あるクラスの女子生徒20人が体力テストで反復横とびを行い、その記録を整理したところ、20人の記録の中央値は50回であった。この20人の記録について、次のア～エのうち、必ず正しいといえるものを1つ選び、記号で答えなさい。 ア 20人の記録の合計は、1000回である。 イ 20人のうち、記録が50回であった生徒が最も多い。 ウ 20人のうち、記録が60回以上であった生徒は1人もいない。 エ 20人のうち、記録が50回以上であった生徒が少なくとも10人いる。	
	2つの容器A,Bに牛乳が入っており、容器Bに入っている牛乳の量は、容器Aに入っている牛乳の量の2倍である。容器Aに140mLの牛乳を加えたところ、容器Aの牛乳の量と容器Bの牛乳の量の比が5:3となった。はじめに容器Aに入っていた牛乳の量は何mLであったか、求めなさい。 ただし、解答用紙の(解)には、答えを求める過程を書くこと。	
	次の図のように、長い斜面にボールをそっと置いたところ、ボールは斜面に沿って転がり始めた。ボールが斜面上にあるとき、転がり始めてから x 秒後までにボールが進んだ距離を y m とすると、 x と y の間には、 $y = \frac{1}{2}x^2$ という関係が成り立っていることが分かった。 この関数について、 x の値が1から3まで増加するときの変化の割合を調べて分かることとして、次のア～エのうち正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。 	
	ア 変化の割合は $\frac{1}{2}$ なので、1秒後から3秒後までの間にボールが進んだ距離は $\frac{1}{2}$ m である。 イ 変化の割合は $\frac{1}{2}$ なので、1秒後から3秒後までの間のボールの平均の速さは秒速 $\frac{1}{2}$ m である。 ウ 変化の割合は2なので、1秒後から3秒後までの間にボールが進んだ距離は2mである。 エ 変化の割合は2なので、1秒後から3秒後までの間のボールの平均の速さは秒速2mである。	

